



平成 29 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ プ ロ セ ル
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 横 山 周 史
(コード番号：4978)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 白 井 大 祐
(TEL. 045-475-3887)

分担企業として参加する研究開発課題の AMED 公募事業への採択に関するお知らせ
(課題名：Organ-on-a-Chip 等のデバイスに应用可能な薬剤スクリーニングに適したヒト iPS 細胞由来三次元肝スフェロイドの安定的な製造)

先日、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）が公募する事業「平成29年度 再生医療の産業化に向けた評価基盤技術開発事業（再生医療技術を応用した創薬支援基盤技術の開発）」（以下、本事業）へ公立大学法人横浜市立大学を研究の代表機関、当社を研究の分担企業として申請しておりました研究開発課題「Organ-on-a-Chip等のデバイスに应用可能な薬剤スクリーニングに適したヒトiPS細胞由来三次元肝スフェロイドの安定的な製造」が本日採択され、当社は分担企業として研究開発費（補助金）の分配を受けることとなりましたので、お知らせいたします。

医薬品開発では、製薬企業において医薬品候補化合物の毒性の有無などを、ヒトの肝細胞を用いて評価することをガイドラインで定めております。しかしながら、肝細胞は供給が不安定な事に加え、採取してからの機能低下が早く、ロット間の差が大きいことが問題となっています。

本事業では、製薬企業で実用的に使用できる高機能なヒトiPS細胞由来の肝細胞を三次元スフェロイド（※）の形で安定供給するための培養方法、大量作成方法、凍結保存方法を開発することを目的としております。

なお、当社は本事業に対する研究開発費（補助金）の分配を受ける予定であります。本研究開発課題へは複数の機関が参加しているため、当社の受領金額は未定です。受領金額が確定次第、速やかにお知らせいたします。

また、受領は来年度を見込んでおり、平成30年3月期の業績予想への影響はありません。

当社では引き続き、ヒトiPS細胞由来の機能性細胞を活用したプロジェクトを推進してまいります。

<概要>

研究開発課題名： 「Organ-on-a-Chip等のデバイスに应用可能な薬剤スクリーニングに適したヒトiPS細胞由来三次元肝スフェロイドの安定的な製造」

代 表 機 関： 公立大学法人横浜市立大学

研究開発代表者： 小島 伸彦

予 定 期 間： 平成29年度～平成31年度

研究開発費の規模： 年間20,000～30,000千円（当社の受領金額は未定）

(用語説明)

※スフェロイド：細胞が凝集した塊

以 上